



福田尚代「佇む人たち」2004年（うらわ美術館蔵）



柄澤 齊「Hours」1992年（うらわ美術館蔵）

近代日本の装幀美本からブック・アートまで  
本をめぐる美術、美術になった本

本をめぐる美術、美術になった本  
1905-2004

2018.1.20（土） - 3.18（日）

会場／町田市民文学館ことばらんど2階展示室

観覧時間／10:00～17:00

休館日／毎週月曜日（2/12は開館）、2/8、3/8

観覧料／無料

特別協力／岩切信一郎（美術史家）

協力／うらわ美術館 茅ヶ崎市立図書館 千葉市美術館

町田市立国際版画美術館 三鷹市 弥生美術館

町田市民文学館ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17 TEL 042 (739) 3420 FAX 042 (739) 3421

JR 横浜線町田駅ターミナル口から徒歩8分、小田急線町田駅東口から徒歩12分



コレット『葉の恋』1928年（装幀 東郷青児）（個人蔵）



（左）夏目漱石『西園』1910年（右）二葉亭四迷訳『浮草』1908年（装幀ともに橋口五葉）（当館蔵）



谷崎潤一郎『鍵』1956年（装幀 横方志功）（当館蔵）

# 本をめぐる美術、美術になった本

近代日本の装幀美本からブック・アートまで：1905-2004

インクの香り、ページをめくる時の紙の手触り。私たちの本にまつわる記憶は、本文の内容は言うに及ばず、「本」を体感することによって形作られてきました。明治30年代以降、和装本から洋装本へと本の装幀は大きく形を変えます。夏目漱石の著書に代表される、作家と装幀者の幸福な出会いによって生み出された名品と呼ばれる本や、ミノムシや竹の皮といった奇抜な素材を用いた「げて装本」と言われる本まで、そこには作品世界を表現するための様々なアイデアと工夫が凝らされています。

本展では、主として明治30年代から昭和20年代に至る装幀本の数々に加え、「本」という形態と機能に魅せられた現代美術家たちの作品を紹介します。本はその内容、すなわち作家によって紡がれた「ことば」を伝える媒体です。しかし、本文を伝える手段がデジタル化されたとき、本は物体としての役目を終えるのでしょうか。「本」という身近な存在について、今一度再考します。



橋田東聲『無限の道』1933年（装幀：川端龍子）（個人蔵）



加納光於、瀧口修造『煌文庫1 掌中破片』1979年（うらわ美術館蔵）



大竹伸朗『EZMD』1987年（うらわ美術館蔵）



小林秀雄著書 1931-1949年（装幀：青山二郎）（当館蔵）



吉田絢二郎著書 1923-1935年（装幀：恩地孝四郎）（個人蔵）



若林奮『7月の冷却と加熱 ミズキの一枝』1986年（うらわ美術館蔵）

## 関連イベント

### 【講演会】\*参加無料

○1月27日（土） 14:00～15:30 定員：70名（申込順）

講師：池内 紀（独文学者・エッセイスト）

『『本は文明の旗だ』—造本家・恩地孝四郎とその時代』

※申込：12月22日（金）正午から

電話で町田市イベントダイヤル（042-724-5656）または町田市 HP「イベシス」からイベントコード 171222B

○2月11日（日） 14:00～15:30 定員：70名（申込順）

講師：岩切信一郎（美術史家・本展特別協力）

『装幀クロニクル—夏目漱石からはじまる美本の世界』

※申込：1月10日（水）正午から

電話で町田市イベントダイヤル（042-724-5656）または町田市 HP「イベシス」からイベントコード 170110A

### 【展示解説】\*参加無料

1月30日（火）、2月6日（火）、2月25日（日）、3月18日（日）

14:00～（40分程度）

\*申込不要。直接文学館2階展示室にお集まりください。

### 【装幀ワークショップ】

①文庫本の改装体験

2月17日（土） 13:00～16:30

定員：15名（申込順）

参加費：1,000円（実費）

講師：藤井敬子（製本家）

\*厚さ2cm以内のお好きな文庫本をお持ちください。あなただけのオリジナル装幀の文庫本を作ります。

②活版印刷とフランス装体験

3月3日（土）、4日（日） ※2日連続講座

3日：9:30～16:00 参加者を4班に分け、班ごとに活版印刷を行います。

（所要時間：1時間30分 順次解散）

4日：13:00～16:00 参加者全員で活版印刷した用紙をフランス装に仕上げます。

（所要時間：3時間）

定員：16名（申込順）

参加費：1,000円（実費）

講師：藤井敬子（製本家）

協力：（有）新星舎印刷所

\*20文字以内のお好きな言葉を、活字を選んで印刷し、フランス装で小型本に仕上げます。

※申込：ワークショップ①②とも1月16日（火）正午から

電話で当館（042-739-3420）へ。



## 町田市民文学館ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17 TEL 042 (739) 3420 FAX 042 (739) 3421  
JR 横浜線町田駅ターミナル口から徒歩8分、小田急線町田駅東口から徒歩12分

